

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025～2026 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会 長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹 事：森 敬

会 報：古田 育則

前例会の記録 第 2194 回

2025 年 11 月 15 日 (土)

長良川流域連携クリーン作戦例会

場 所 関観光ホテルの前の河原

担 当 環境保全委員会

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

本日のプログラム 第 2195 回例会 2025 年 11 月 27 日 (木)

C,A 地区大会報告 担 当：会長・幹事

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱・・・⑨

*会長あいさつ 古田 和也 会長



本日のプログラムは C,A 地区大会の報告です。地区大会にご参加いただいたみなさまにはお疲れ様でございました。今日は全員に、お話しを頂戴いたします

ので、宜しくお願い申し上げます。

この地区大会ですが、後ほどみなさまに、それぞれお

感じになられたことを、発表していただきますので、私からは地区大会の内容はお話しませんが、関中央ロータリークラブとしては、11 月 8 日から 9 日にかけて、桑名市柿安シティーホールにて開催されました地区大会にガバナー補佐の喜久生先生も含めて 11 名で参加してまいりました。

今回の行程を企画していただいた森幹事、お疲れ様でした。今回、地区大会に参加するにあたり、私が今まで参加させていただいた経験ではなかったことを、企画していただきました。まず、バスで会場に向かう道中、お酒をご用意していただき、みんなで少しだけいただきながら、わいわいと楽しく過ごさせていただきました。あり

がとうございました。

会場についてからは、しっかりと途中で帰ることもなく最後までプログラムを全うして、その日の夜は、四日市で繁華街に近い宿を手配していただき、おいしい会食をして、その後四日市の夜を堪能させていただき、しっかりと親睦を深めさせていただきました。また 2 日目の地区大会終了後の昼食は、森幹事のアイデアで、お千代保稲荷に立ち寄る計画をたてていただき、そこでは自由行動として、参拝される方、昼食でまた一杯飲まれる方と、それぞれの楽しみを作っていただき、本当に充実した楽しい地区大会への参加となりました。

やはり、私は思うのですが、ロータリー活動は、もちろん真面目に地区大会や地区主催のプログラムを勉強して自分自身のスキルを磨くのも大切ですが、親睦が第一と申しますように、それ以上に楽しくなければいけないと思います。今回このような、楽しみながら地区大会に参加する企画をしていただいた森幹事に改めて感謝を申し上げると共に、今回ご参加できなかった会員様、特に新入会員様におかれましては、このような地区への行事の参加も、どうせなら楽しみながら行っていきたく思いますので、多数のご参加をお願い申し上げます。

また、11 月はほかにも、持ち出し例会が多く本当に忙しい月でした。担当の環境保全委員の栗山委員長、社会奉仕委員の伊佐地委員長さんをはじめ、ご参加いただいた会員様におかれましては、本当にお疲れ様でございました。

11 月 2 日には森林整備例会が、例年通りふどうの森で行われ、インターアクトクラブは学生 1 名、先生 1 名と寂しい参加人数でしたが、子援隊からひとり親家庭のご参加もあり、もみじの植樹の場所の下刈り、自然散策や里山についての学習を行い、昼食の豚汁や、塩コショウがなくてちょっと一味足りなかったかもしれない焼きそばなどをたくさん召し上がっていただき、みなさまにとっても喜んでいただき、大変良い事業ができたと思います。

15 日には長良川流域クリーン作戦を行い、たくさんのゴミを拾いながら環境について学び、16 日にはひとり親家庭に新米のプレゼントとして、市役所において午前中、小川会員の田んぼで栽培した新米を配布いたしました。たくさんのひとり親家庭の親子さんにお配りさせていただいて、みなさまの喜んでいらっしゃる顔を拝見できて、

関中央ロータリークラブは本当に良い活動をさせていただいていると改めて考えさせていただいた次第でございます。

ただ、ロータリー活動に於いて良い事業を行うことは、当然のことなのですが、今後の課題として、身の丈にあったクラブ活動をしていくことが必要だと考えます。この件に関しましては今後みなさまと考えていかねばならない課題といたしまして、今日は、この後のみなさまの発表にたくさん時間を使っていたいただかなければなりませんので、ここまでとさせていただき、本日の会長挨拶とさせていただきますので宜しく願い申し上げます。

*IGM 報告 レポーター 藤村勇太会員



10月30日 6 時半より Sunday Monday にて開催されました。出席者は、カウンセラー土屋敏幸さん、R 情報委員古

田博文さん、世話係大藪太さん、森敬幹事、レポーター私藤村勇太の5人で行っておりましたら、隣で別の会を開催されていて、吉田和也会長、高井良祐副会長、岐阜新聞社中濃総局長舌間孝弘さんも交えて8人での開催となりました。

土屋カウンセラーから、IGM ではおなじみとなっている題材と、会員増強について、活動内容について提案されました。

古田情報委員から、活動内容を見直していく中で、先日玉野ガバナーの発言の中で、地区大会は義務ではない、IM の開催の仕方、ガバナー公式訪問の開催の仕方、合同例会や同時開催を用いて、負担を軽くしていく方法を模索した方がいいのではないかと意見が出ました。

また、他の活動についての見直しや意見が出ましたので紹介します。

・会員増強のためにも、一旦ロータリーの原点に立ち戻り、関中央 RC の会員同士や、他のクラブとの懇親を中心に据えて行動を計画するのは良いのでは。

・現在の経済的な面から、比重が非常に大きいインターアクト関連や、台湾の親善事業の活動についても、関商工さんの参加者人数や、奉仕の精神についての理解不

足や積極性の減退も見受けられるため、このままの会員数であるなら、経済的に、活動の縮小をしていかないと破綻してしまう。

・ひとり親家庭の支援については、支援している団体が固定化しているため、いつもの同じ顔ぶれとなっていることが、公平という観点では少し問題が出ているのではないか、コメ事業は広く公平に行えているが、作って渡すのと買って渡すのではコストは同じなのか？負担を考えると買った方が低くなるのなら買って配布するのも手段として考えてもいいのでは。

・会員の配偶者の誕生日に、古田博文さんが、おいしい和菓子を用意して送ってくださるのですが、昨今の原価高騰や配送費の値上がりが重なっており、現状の予算で続けていくことが負担となっているそうです。

・会員の中でも「ありがとう」を言う機会が少なくなっている。年齢に関係なく、いろんな方が参加している中で、クラブの活動を当たり前に据えるのではなく、お互いに「ありがとう」を言い合える活動をしなければ、会員数は減ってしまうのではないかと、意見が出ました。

今年は、4回 IGM が開催されましたが、ここでの意見をもっと尊重して、取り入れて運営に活かして欲しいです。昔の話を伺うとやはり今よりも懇親が中心にあった気がします。会員同士の懇親が深まる中で彼も誘ってみようと広がっていくのが本当の会員増強のあり方なのかなと思いました。

*本日のプログラム C,A 地区大会報告



土屋敏幸会員

11/18(土)9時ごろ、関シティーミナル付近に集合し、長良観光のバスで桑名の柿安シティーホールへ向かい

ました。ここでの参加は私にとって2回目です。

バスの中では、森幹事が色々気遣ってくださり、3種類の飲み物とおつまみを頂きとてもおいしく、気分もハイになりました。ありがとうございます。昼食も済ませ、本会場に入りました。

12時に通常通りの式典がはじまり、式典の後14時から7人の方のスピーチが始まりました。一人目は、ロータリ

一財団学友会佐藤恵子代表で、元名古屋音大学長で1980年ごろ、RC でドイツ留学をされたそうです。

二人目はロータリーアクトクラブ代表岐阜聖徳インターアクト反中英暉さんで、言語障害があり聞きづらかったらごめんなさとおっしゃっていましたが、ゆっくりとしっかり話をされていたのには感動さえ憶えました。情けない私は、彼の姿に心を奪われ、話の内容を忘れてしまいました。

三人目は国際青少年交換受入入学生、ジョナ・ニーレンバーグさんは、アメリカ・テキサス州の出身で今は下呂益田清風高校に通学されて、日本語を一生懸命話されていたことに好印象を持ちました。

四人目は国際青少年交換派遣学生古市穂乃果さんで、オーストラリアに1年間留学されたそうです。

五人目はインターアクトクラブ代表ダニエル梨里杏さんで、韓国派遣5日間に参加され短い間でしたが、文化の違いとスキンシップの多さを強く実感されたようです。

六人目は、米谷記念奨学生、柳多映さん韓国出身で、目標は博士課程を取得することと、上手な日本語で話されたと記憶しております。

七人目は米山学友会代表、趙慧婷さんで、2020年～2022 年まで大垣中 RC の留学生の支援をしていると話されました。

15時ごろから愛工大名電校の吹奏楽部の記念演奏会があり、演歌や私の知らない昔の曲も演奏し、高井副会長がすごく喜んでいました。さすが名門だけあって素晴らしかったですが、担当の先生のワンマンショーの感じもしました。

2 日目は前日飲み過ぎて体調が非常に悪く、参加するのに精一杯で、はっきりと覚えているのは、帰りに寄った、お千代保稲荷で喜久生先生から頂いたナマズの蒲焼の美味しさのみでした。あまりにも恥ずかしいので、来年からは酒をのまないようにしなければ、と思っている次第です。



前田仁夫会員

私は、大会だけ参加して1日で帰りました。会の内容は、ほとんど寝ておりまして分からないので他の方お願いします。帰りは、近鉄電

車で特急 2 号車 4 番に乗り、名古屋まで行き、その後名古屋から新鵜沼まで特急 2 号車 4 番で行けまして、これは運がいいなと思っていましたら、鵜沼駅で予約したタクシーを待っていましたが、15 分くらい待っても来なくて、近くにおじいさんもタクシー待ちしていました。私もおじいさんですけど・・・

再度タクシー会社に電話したら、孫が広島から出張の帰りと一緒に、そしてタクシーも来てしまい、結局タクシーに乗って帰りました。なぜこんなに急いで帰らなかったかという、地区大会の袋がピンク色で、おじいさんがこんなショッキングな色のカバンを持っていると周りの視線がはずかしかったからです。でも、とても楽しかったです。



伊佐地司会員(代読:森幹事)
最初にプログラムを拝見した際、初日に愛工大名電高校吹奏楽部の記念講演会が予定されておりました。正直なところ、

吹奏楽には縁のない私にとっては興味が湧かず、1 時間という予定にも退屈してしまうのではないかと、ネガティブな印象を抱きました。

しかし、実際に演奏を拝聴すると、全国大会で好成績を収める学校ならではの、その素晴らしい演奏に、吹奏楽に詳しくない私でも深く感動いたしました。また、指揮者である顧問の先生とせいとのトークも大変面白く、当初の懸念を忘れさせるほど楽しい時間となりました。

また、2023-26 年度国際ロータリー第 2 地域公共イメージコーディネーター神野正博様のご挨拶で語られた「ロータリーは奉仕活動をする団体ではなく、奉仕活動をする人を作る団体である」「奉仕をする人を作るためには、奉仕をする人に対しての研修や学びが必要」というお言葉が特に印象的で、深く感銘を受け納得いたしました。

テーマである「Let's enjoy 地区大会 in 桑名」の通り、随所に演出の工夫が凝らされ、ガバナーご自身がエンターティナーとして参加者を楽しませようという温かい心遣いが非常に感じられました。全体を通して、大変素敵な大会だったと思います。



石原妙生会員

今回の地区大会は一言で言って、参加して「大変」良かったという感想です。

毎回、地区大会は何か珍しいこと、あるいは有名な人の講演など、参加して良かったと思える内容が有ります。

中でも一番良いと思う事は、会員間での交流で、今回はバスの中での「たわいもない話」や懇親会等、親睦が図れることです。ちなみに私はロータリーに入会以来、地区大会参加は毎年参加の皆勤賞です。

でも今回一日目はオープニングの「国歌」や「奉仕の理想」を生演奏で歌えた事で大変インパクトが有りました。演奏は全国大会常連の愛工大名電高校の吹奏楽部によるもので、その後の記念演奏会でも素晴らしい演奏を何曲も聞くことが出来、心豊かな時間を過ごさせてもらいました。中でも年齢層が高い我々の為に、昭和の名曲も演奏され会場中が大変盛り上がりしました。

二日目の開会アトラクションでは、テレビ番組の「ブラタモリ」を模した「桑名ブラたまの」のビデオ映像は、玉野ガバナーと安田代表幹事が桑名の紹介をしたもので、普段の会話風で面白い内容でした。又、地区大会の最後にはエンドロールを流し関係者の名前も披露しまるで映画の様なラストで二日間を通して「玉野カラー」全開の地区大会であったと思います。



川上勉会員

2007-2008 年に山田文夫さんが会長の時、私は幹事をしておりました。その時の地区大会も桑名で開催され、ガバナーが、田中さんという初の女性の方でした。そして今年の地区大会も桑名で女性の玉野ガバナーでした。なぜ、桑名は女性なのかなと思い、ちょっと桑名のことを調べてみました。

桑名の女性というか三重の女性は、一つ目に明るくて小さなことには気にしない、おおらかな女性が多い傾向にある。どちらかというと田舎の県なので、おとなしい女性のイメージがあるのですが、意外と大胆な面もあるそうです。二つ目は、働き者で頑張り屋が多いそうです。地域的に宿場町が多く、共働きが多いそうです。三つ目

に真が強い、意外と頑固でしっかり者である。四つ目は情に熱いそうです。なので、桑名から2人の女性ガバナーが出たのだと思います。今回のテーマである「Let's enjoy 地区大会 in 桑名」のとおりで、一番楽しい地区大会でした。なかでも、愛工大名電高校の吹奏楽部 45 回大会に出場し、17 回金賞を受賞して素晴らしい演奏をきいてとても感動いたしました。



川村紳一会員

行きのバスの中で、もう宴会でいい気分になっておりました。地区大会の会場に着いて、話をウトウトしながら聞いておりましたら、愛工大名電高校の吹奏楽部の演奏が始まり、素晴らしい演奏で目がバチッと開き、堪能することが出来ました。そして懇親会があり、その後いろいろなお店を紹介して飲み歩いていましたら、財布の中身が、なくなりましたが、とても楽しい会でした。



高井良祐会員

2 日間のお話は、バッチリと聞くことが出来ました。なぜかというと私はお酒が弱いので、家でも飲ませてもらえないです。

なので、懇親会がおわってすぐにホテルに入ってすぐに寝ました。が、内容は全然覚えていません。

でも、皆さんが言う愛工大名電高校の吹奏楽部の演奏で、50 年か 55 年くらい前の、Deep Purple の Highway Star や Smoke on the Water が演奏され、私このライブの 2 枚組アルバム持っているのですが、今すごいプレミアがついているそうで、その音楽を聴けてとても嬉しかったです。

それからお土産を買いにわらび餅と安永餅としぐれ煮を買いました。

わらび餅は、長女が大好きなので買ったのですが、次の日にはなくなっていました。試食で食べたので、まあいいかと思っていましたが、安永餅も次の日家に帰って食べようと思ったら、妻が全部食べてしまって、食べることが出来ませんでした。

そしてしぐれ煮だけが残って、誰も食べてくれないので、私がお茶漬けにしたりして消費しています。



喜久生明男会員

私は、別便で行きましたので、みんなが楽しい楽しいと言っている宴会は参加できませんでした。

たが、皆さんの知らない第 2630 地区大晩餐会へ出席しましたので報告します。会場はホテル花水木で 18:00 より行われました。オープニングには財団学友会の名古屋音楽大学卒業のソプラノ歌手:溝口万莉さん(美濃加茂市出身)、ピアノ田中百合子さん(加納高校卒)の透き通るような歌を聴きました。開宴の言葉を大会実行委員長柴田佳幸さん、歓迎の言葉をガバナー玉野英美さんより伺い、直前ガバナーの亀井喜久雄さんの乾杯にて大晩餐会が始まりました。途中にはホストクラブのロータリアンによる余興が入り、アトラクションとしてはものまねスターりんごちゃんがステージに上がり、晩餐会のボルテージがどんどん高くなって行きました。そして、ガバナーオンステージで玉野ガバナーと安田代表幹事のアトラクションで、最高潮に盛り上がり、多くの参加者はステージに上り、歌と踊りで溢れかえったのでした。余韻を残しての会食が進み、結びにはロータリーソング「手に手つないで」を合唱し一次会を終えました。隣の会場に二次会が設定されておりましたが、私は参加せずに眠りにつきました。

何が一番良かったかという過去にもいろいろな地区大会に参加しましたが、偉い方たちが、会員増強と堅苦しい話ばかりで、何がおもしろいのかなと思っていましたが、みんなが奉仕の志を持つ第 2630 地区のロータリアンが一堂に会するのが地区大会です。楽しみや交流を深めるのが大会の趣旨であることを確信しました。地区大会をはじめ IM も例会も今後は楽しさを求めて行くことが良いのではと思いました。



*出席委員会

会員数 27 名、本日の出席 12 名です。

*ニコボックス委員会

13 ポイントのご投函ありがとうございました。

*その他の委員会報告

*幹事報告

<次例会の案内>

第 2196 回 12 月 4 日 (木)

年次総会・懇親会

担 当 : 会長・幹事・親睦活動委員会

